

株式会社ノア
東京都新宿区早稲田町 70 番地 8
2012 年 1 月

販売店各位様

拝啓 寒気厳しき折、貴社益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜わり、篤く御礼申し上げます。

さて、2010 年(平成 22 年)に発売されたソナス・ファベールのフラッグシップ・スピーカーシステム「the Sonus faber(ザ・ソナス・ファベール)」は、多くのオーディオファイルの皆様から高い評価をいただき、大きな話題となりましたが、このたびソナス・ファベールでは、そのテクノロジーを新たな形で受け継ぐ「Aida(アイーダ)」を発売いたしますので、ご案内申し上げます。

「アイーダ」は、「the Sonus faber」の「LVT(Low Vibration Transmission)」構造を発展させた「ZVT(Zero Vibration Transmission)」構造の採用、「ステルス・リフレックス」方式、金属ブロック削り出しによる天板と底部ベースを内部魂柱で強固に連結する「Anima legata(アニマ・レガータ)」機構など、さまざまな技術を発展的に継承した意欲的な製品に仕上がっております。

つきましては添付の資料をご高覧いただき、積極的なご販売、お取り組みをいただければ幸いに存じます。

敬具

記

- | | |
|--------|---|
| ●ブランド名 | ソナス・ファベール(イタリア) |
| ●製品名 | Aida(アイーダ) |
| ●価格 | 希望小売価格 10,500,000 円(税込)：本体価格 10,000,000 円(税抜) |
| ●発売日 | 2012 年(平成 24 年)3 月 |

「AIDA」製品資料

ソナス・ファベールの歴史を塗りかえる新機軸

2010年(平成22年)に発売された「the Sonus faber(ザ・ソナス・ファベール)」は、メーカー自らの名前を冠するにふさわしい最上級機種として高いご評価をいただきました。

とりわけ、最下部のベース部分とキャビネットとの間に適度なコンプライアンスを持たせるLVT(Low Vibration Transmission)構造や、リアダクトのバスレフポートに適度なダンブをかける「ステルス・リフレックス」方式、金属ブロック削り出しによる天板と底部ベースにてキャビネットを挟み込む「エキソ・スケルトン・クランプ構造」の採用によって必要以上に重量化することなく堅牢性を確保し、豊かな響きを失わない音楽性を獲得する独自のスピーカー造りは、まさにソナス・ファベールの新境地とすることができます。

2011年12月、この「the Sonus faber」が果たしたイノベーションをさらに発展的に継承し、ソナス・ファベールの歴史を塗りかえる新たなスピーカーが誕生しました。その名も「Aida(アイダ)」。

それはソナス・ファベールにとって、まさしくジュゼッペ・ヴェルディのオペラ同様、不変の価値を守りつつ新しい価値を創造するスピーカーであり、壮大な歌劇「アイダ」において、ヴェルディがオペラにおける伝統と革新を結びあわせたように、スピーカーにおける新たな高みを目指す新たなプロジェクトに他なりません。

イタリア統一150周年の記念すべき年、ソナス・ファベールは、スピーカーの新たな世紀と新たな美の象徴として、イタリアが生んだ偉大なる巨匠にこのスピーカーを捧げます。

「アイダ」は3.5ウェイのフロアスタンディング型で、ソナス・ファベールの新たなプロジェクトが常にそうであったように、数々の技術革新を体現しています。

■流麗なキャビネット・デザイン

「アイダ」のキャビネット設計においてとりわけ特徴的なのは、「リラ(堅琴)」を意識した形状です。断面を堅琴に似た形状としたこの「リラ・シェイプ」デザインは、従来の「リュート・シェイプ」デザイン同様、キャビネット内部で平行する面を極力少なくすることで定在波の発生を無視しうる程度に抑える一方で、これまで開発してきたいかなるアプローチと比較してもはるかに高い構造的強度をそなえ、スピーカー内で発生するエネルギーをきわめて効果的に管理することに成功しています。

また、キャビネット後部は前部に対して逆方向のカーブを描いており、過去の多くの風洞実験などの結果から実証されている最も空気抵抗の少ない形状となっています。その結果、再生音の回り込みなどの際の微妙な気流変化を最大限に抑止することができます。美しく流麗にして、音響学的に考え抜かれたデザインと言えるでしょう。

■キャビネットの素材と構造

キャビネット素材には、「アマティ・フトゥーラ」などと同様、マホガニーに似た風合いの得られるカンラン科広葉樹「オクメ(Aucoumea)」材を採用。この素材を厚みの異なるシート状とし、木目の角度を交互に90度ずつ変えて積層していく手法によるプライウッドを自社生産しており、積層工程の中でプレス機により徐々に加圧しながら曲面を持たせることによって美しい「リラ・シェイプ」を造形しています。

さらに粘弾性の高い素材層による防振を施す「圧縮積層防振構造」を極限まで追求、共振

を徹底的に排除した一方、キャビネット内部に補強リブを配することで強度を高めるとともに、音調や振動の制御、スプリアス振動排除・定在波制御にも成功しています。

キャビネット底部は、CNC（コンピューター数値制御）加工機にて成型した 30mm 厚のベースプレートを使用、その上部に、ZVT (Zero Vibration Transmission) 構造部を介してマウントした 15mm サブベースプレートを配置した上で、キャビネットを構築する設計になっています。ZVT は「the Sonus faber」に採用された、床面からの振動とスピーカーを遮断する特許技術「LVT (Low Vibration Transmission 低伝播振動)」をさらに進化させたアプローチで、山型加工により強度を向上させたサブベースプレートとあいまって、固有共振を効果的に抑えています。

この底部と、同じく金属削り出しブロックを配した天板は、「Bound Soul (バウンド・ソウル)」と呼ばれる非磁性合金スチール製の心棒で連結されており、サブウーファー、ウーファー、ミッドレンジ+ツイーターの 3 気室に分離されたキャビネット内部を強固に挟み込む設計となっています。この「Anima Legata (アニマ・レガータ)」構造は、キャビネット重量を必要以上に増大させることなく巧みにシステム全体の強度向上を図るとともに、逆相にて振動することにより微小振動を徹底排除するよう、それぞれ別個にチューニングされた「Tuned Mass Damper (質量調整ダンパー)」とあいまって、入念な振動・共振対策の根幹を成しています。

さらに、エラストマー材によって、ちょうど弓を引いたような形で床面からキャビネット全体をサスペンドすることにより、スプリアス共振やアコースティック・フィードバック、リスニングルームのあらゆる振動要素を排除する特許ハイブリッド・サスペンション技術「ボウ・スプリング」技術も、「アイダ」において特に革新的なアプローチとすることができます。

■ドライバーユニットの構成と構造

「アイダ」のユニット構成は全体として 3.5 ウェイとなっており、320mm コーン型サブウーファー、220mm コーン型ウーファー 2 本、180mm コーン型ミッドレンジ・29mm ドーム型ツイーターを搭載しています。この他、「サウンドシェイパー」機能用として 29mm ドーム型ツイーターと 120mm コーン型ウーファーから成る 2 ウェイ・システムを背面上部に設けることにより音場感の向上を実現しています。

<ツイーター>

3000Hz 以上の周波数帯域を受け持つツイーターは、ソナス・ファベール独自の「アロー・ポイント DAD」を採用した 29mm ドーム型の 29 XTR-06。DAD (Damped Apex Dome) は、クラシックなドームとリング・トランスデューサーを融合したソナス・ファベール特製のムーヴィング・コイル・ドライバーで、独自の振動対策を施した機械的インターフェースを搭載。ミッドレンジとともに、キャビネット本体から音響的に独立させた天然木音響迷路型リア・チェンバーにマウントされています。

ネオジウム磁石を使用した新設計の強力な磁気回路を採用、きわめてダイナミックなリニアリティーを獲得しており、リスニングルームの特性、リスナーのテイストに合わせて SPL を 3 段階で調整することができます。



<ミッドレンジ>

ミッドレンジは、ソナス・ファベール設計による、ネオジミウム磁気回路搭載の 180mm 口径 M18 XTR-08。複合材フォーマー、エディ電流対策を重視したボイスコイル、CCAW 線材、ケロググ/ゲラー電界モーターの採用により、きわめてダイナミック・リアリティーを獲得しています。ダイアフラムは、伝統的なセルローズ・パルプ、カポック、ケナフその他の自然繊維を圧縮することなくブレンド、入念に自然乾燥させたカスタムメイドで、粘弾性のある透明な素材で表面をコーティングすることにより残留するコーン色づけ要素を一掃、きわめてナチュラルなサウンドを実現しました。フレームは、航空機用/砲金の異種金属をブレンド、相互の共振要素を相殺した無垢材から CNC 加工機によって削り出されており、ユニット全体の共振を排除しています。また、ツイーター同様、メイン・バスフル・ボードからデカップリングしたアコースティック・チェンバーにユニットをマウント、キャビティーの共振を排除する特製の同軸アンチ・コンプレッサーも採用しています。180mm の大口径で 250Hz から 3000Hz までの広い帯域を再生するため、音色の統一感の向上にも大きく寄与しています。

なお、このミッドレンジやツイーターなど、音色に影響を与えやすく指向性に関わるユニット群はキャビネット前面に縦並びインライン配置。水平方向の指向特性を向上させ、広範囲での指向特性劣化を避けるよう配慮されています。元来指向特性に優れたドーム型ツイーターの使用とあいまって、いわゆるスイートスポット以外でも良好な聴感が得られる、優れたユニット配置となっています。



<ウーファーとサブウーファー>

250Hz 以下の周波数帯域を受け持つ 2 本の 220mm コーン型ウーファーは、ソナス・ファベール製 W22 XTR-12。コーティング処理した天然セルローズ・パルプ材にてシタクチック・フォーム製のコアを挟み込む軽量サンドウィッチ構造としており、低域の拡大と低域周波数歪み低減に有効な「ステルス・リフレックス」構造チェンバーにマウント。ミッドレンジ同様のペーパー・パルプを採用したため、優れた低域分解能を誇る一方でミッドレンジとの絶妙な音色の統一感を実現しています。また、エディ電流対策を重視した 2 インチ口径のボイスコイルを採用、高速でリアリティーに優れたパフォーマンスを実現するロングスロー磁気回路としており、大振幅の信号にも余裕を持って対応することができます。

55Hz 以下の周波数帯域をウーファーとともに受け持つコーン型サブウーファーは、ソナス・ファベール製の SW22 XTR-08。320mm 口径のハニカム・サンドイッチ構造コーンを採用し、ナノカーボン技術により高い剛性を確保、ウーファーにもまして大振幅再生時のリアリティー確保を重視しています。ボイスコイルは実に 3 インチの大口径で、きわめてダイナミックなリアリティーを実現するロングスロー磁気回路にて駆動されます。

サブウーファーは、音色に影響を与えにくい方向感が弱い帯域の再生を受け持つことから、キャビネット底部に側面ではなく底面に取り付けられており、リスニングルームの左右側面からの影響を受けにくい構造としています。また、30mm 厚のベースプレートと山型加工 15mm サブベースプレートの間を通して再生されるため、深々と床面に広がる、落ち着いた低音の再生を実現します。なお、サブウーファーの SPL は、リスニングルームの特性、リス

ナーのテイストに合わせて3段階で調整することができます。

<サウンドシェイパー機能>

リアバッフル面には「the Sonus faber」同様、「サウンドシェイパー」2ウェイ・システムを装着しています。サウンドシェイパーは直接放射と反響音を制御する特許技術で、リスニングルームの音場特性に依存することなくスピーカー・システム自らが残響成分を再生し、積極的に音場構築するために設けられたモジュール。リスニングルームの残響特性に関わりなく、リスナーのご希望に合わせた音場を実現することができます。サウンドシェイパー部のツイーターは、フロント同様の29mm口径で、きわめてダイナミックなリニアリティーのネオジミウム・ドーム型で、非軸上放射を最適化した設計になっています。またサウンドシェイパー部のミッドレンジは120mm口径、ペーパー・パルプと自然繊維をブレンドし、フロントのミッドレンジとの絶妙なつながりを実現するコーン・ドライバーとしています。

サウンドシェイパーの再生音量は4段階で調整が可能で、サウンドシェイパーからの再生をバイパスすることもできます。



<秀逸なクロスオーバー・ネットワーク設計>

システム全体のパフォーマンスを左右するクロスオーバー・ネットワークは、共振を徹底排除するリジッドな設計になっており、振幅／位相特性、空間／時間特性を最適化する一方、アンプとのマッチングを考慮して低域周波数のインピーダンスを最適に制御しています。クロスオーバーポイントは180Hz／250Hz／3000Hzの3点で、55Hz以下はキャビネット底面にマウントされたサブウーファーも再生に加わります。ミッドレンジユニットの再生帯域が250Hzから3000Hzと広いため、マルチウェイ・スピーカーでありながら高い次元で音色の統一が図られている点も[アイダ]の大きな特徴の一つです。

また、ドイツ・ムンドルフ製「シュプリーム・シリーズ」の中でも耐圧1000Vを誇るSilver/Gold/Oil仕様のコンデンサーや、デンマーク・ヤンツェン・オーディオ製コイルなど、高品位なパーツを惜しみなく投入しています。

<入力ターミナル>

リアバッフル最下部に設置された入力ターミナルは、バナナプラグ対応が可能なトライ・ワイヤリング方式。通常はジャンパー板をそのままお使いになれば1台のステレオパワーアンプでご使用いただけます。また、ジャンパーバーを外せば、サブウーファーのみを独立したパワーアンプで駆動する2チャンネル・マルチアンプ駆動や、サブウーファー、ウーファー、ミッドレンジ+ツイーターをそれぞれに独立したパワーアンプで駆動する3チャンネル・マルチアンプ駆動など、多彩な駆動方式をお楽しみいただくことができます。



■仕様

形式	3.5ウェイ4スピーカー+2ウェイ2スピーカー (フロア型スピーカー・システム)
ユニット構成	ツイーター：29mmドーム型 ミッドレンジ：180mmコーン型 ウーファー：220mmコーン型 スーパーウーファー：320mmコーン型 サウンドシェイパー用ツイーター：29mmドーム型 サウンドシェイパー用ウーファー：120mmコーン型
再生周波数帯域	20～35000Hz
能率	92dB/W/m
定格インピーダンス	4Ω
クロスオーバー周波数	55Hz・180Hz／250Hz／3000Hz
推奨アンプ出力	100W～1000W
寸法	W482mm×H1725mm×D780mm
重量	165kg
梱包	1本1梱包(木箱入り)

アイーダとは

ジュゼッペ・ヴェルディの作曲したオペラの登場人物として著名なエチオピアの王女アイーダ(Aida)はエチオピア国王アモナスロ(Amonasro)の娘でしたが、捕虜として捕らえられた後にエジプトの将軍ラダメス(Radames)と恋に落ち、やがては愛に殉じ悲痛な最期を美貌のヒロインです。その凜とした生き方には、このたびのソナス・ファベールの新型スピーカーの名にふさわしい気高ささえ感じることができます。

(株)ノア 東京都新宿区早稲田町70番地8 www.noahcorporation.com

